

公共事業再評価調書

所管課： 道路街路課

1 事業概要	事業名： 主要地方道 伊計平良川線道路改築事業			
	事業種別：主要地方道改築事業	事業主体： 沖縄県	当初事業期間： H13～H22	
	事業箇所：うるま市	根拠法令： 道路法	事業期間： H13～H25	
	総事業費(百万円) 2,750	費用内訳： 補助 9/10	事業量： L=1.539Km・W=20m	
(整備目的)	主要地方道伊計平良川線は、うるま市与那城の伊計島と、沖縄石川線を結び、宮城島、平安座島、浜比嘉島等の唯一の生活道路であると共に、観光道路としての機能も併せもつ重要な道路である。当該箇所を整備することにより、与勝交差点・与那城交差点の交通渋滞を緩和すると共に、観光・地域活性化に大きく寄与するものである。			
2 再評価 該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業採択後10年間を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業採択後5年間を経過して未着工 <input type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止 <input type="checkbox"/> ⑤ その他 ()			
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他 () 相続未登記等により用地取得に時間を要しているため			
4 事業の進捗状況 (H22. 3時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)
計画	2,750	1.539	36.9	
実施済	2,384	1.019	35.9	
率	87%	66%	97%	
5 事業効果の評価指標 (検討年50年) (基準年H22) (単位:百万円)	① 走行時間短縮	7,615	① 事業費(税抜き)	2,651
	② 走行経費減少	51	② 維持管理費	195
	③ 交通事故減少	147		
	総便益	7,813	総費用	2,846
	基準年換算(B)	3,078	基準年換算(C)	3,000
	費用便益比 (B/C) = 3078 / 3000 = 1.03			
6 事業を巡る状況の変化	① 社会・経済： 平成15年4月に、海中道路のロードパーク内に、【海の駅あやはし館】がオープンし、観光拠点となっている。 ② 地元・自治体： 平成22年6月に、うるま市より整備促進の要請書が出された。 ③ 利害関係者： 事業に反対している地権者はおらず、用地買収は概ね進捗しているものの、一部の用地については、相続未登記等により用地取得に時間を要している。			
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 当該路線を整備することによって、与勝交差点・与那城交差点の交通渋滞の緩和、救急搬送等の時間短縮(安全・安心)が図られるとともに、観光支援及び地域活性化のため早期に整備する必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト縮減)： 計画区間1.539kmのうち、既に66%にあたる1.019kmの区間が整備済みであり、用地取得も97%に達していることから、現計画で事業を推進することが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 現道拡幅箇所の一部は供用しているものの、バイパス区間が未供用であるため、十分な効果は発現していない。			
8 今後の対応・見通し	① 事業計画等： 用地取得を速やかに完了させ、予定の事業期間での完了を目指す。 ② 対住民関係： 未買収用地8筆については、引き続き任意交渉を継続する。事業を長期化させないために土地収用法に基づく手続きも視野に入れた対応を進める。 ③ 執行体制等： 現在の体制で取り組む。			
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			